

# ちくさええとこ通信

No.2

2015.01.15 発行

発行者 千種まちづくり推進委員会  
中央市千種町河呂 189 番地 20  
TEL・FAX 0790-76-3995

平成27年 祝・ちくさ「成人を祝う会」



千種南小学校

## 祝 成人

1月2日にセンターちくさで「成人を祝う会」が開催されました。  
小学校入学時は幼くてかわいいですね・・・みんな大人になりました。  
ご成人おめでとうございます。



千種北小学校

# 会便り

## 鷹 巢

ふるさとづくり

平成26年11月23日(日)  
鷹巢最大のイベント、ふるさと  
の集いが開催されました。

自治会長や福元市長さんの挨拶から始まり、午前の部は大正琴演奏や鷹巢の子供たちの紹介、岩野辺から友情出演の銭太鼓でした。

そして恒例の持ち寄りのおにぎりと豚汁の昼食タイム、おばあちゃんが漬ける田舎漬けをおかずにいただきます。その味がなんとも言えず美味しいのです。老若男女が一堂に会して賑やかにいただく昼食は最高です！



午後の部では、地元鷹巢を離れ都会で活躍している若者が創ったオリジナルの歌を弾き語りで披露してくれたり、東京で活躍するマジシャンが来てくださったり、フラダンスやお芝居



昔の写真スライドショーやバンド演奏、ゲストに宍粟市観光大使の瀬戸直人さんを迎えてのオンステージ等、盛り沢山で充実したプログラムの内容に感心するとともに、ご協力いただいた出演者の皆様と準備から片付けまでお世話していただいた皆様、みんなが心を一つにして頑張りました。改めて鷹巢パワーが鈍ることなくさらにパワーアップされたように感じました。鷹巢・・・すごい！



## 「つるし柿作り」



11月9日に旧千種東小学校体育館で「つるし柿作り教室」が開催されました。これは鷹巢活性化委員会がもっと大勢の方に鷹巢に来ていただこうと3年前から始めました。

参加される方も年々増加し、今年はいにくの雨でしたが、遠くは大阪・神戸からも来ていただき、約60名の方が「つるし柿づくり」を楽しまれました。

まず最初にワラで柿を吊るす縄を自分でなつていきます。初めての方も地元老人会の手伝いで、なれない手つきで真剣に作業をされておられました。



それから柿の皮をむいて、ナワに吊



るして、熱湯消毒をして作業終了です。あとは各自持ち帰ってお家で吊るしておいて、おいしい柿が出来上がり、召し上がったことと思います。

作業のあと新米(たかのす米)の昼食を味わっていただきなかなか好評でした。

約2時間ほどの短い間でしたが、参加された方全員満足して楽しんで頂けたことと思っております。



# 自治会

笑顔いっぱい！  
**岩野辺自治会**  
 ふれあい運動会

## 岩野辺

秋空のもとで昨年の9月28日に行われた第1回岩野辺自治会ふれあい運動会。会場に集まったのは300人余り。岩野辺の上と下の各隣保で連合チームをつくり熱戦を繰り広げました。

「記念すべき第1回の優勝は上組です。おめでとーございます。」自治会長から表彰状が手渡された瞬間です。「やったあ。」と喜ぶ上組の皆さん。「やられた。」と言いながらも拍手で上組の勝利を祝福する下組の皆さん。そこにいた誰もが地域のすばらしさや一体感を感じたのではないのでしょうか。

『岩野辺さなほりバレー大会』がなくなっておよそ20年。自治会の多くの皆さんが集い楽しめる運動会にしよう



と実行委員会で作画されました。プログラムは子どもからお年寄りまでが気軽に参加できる内容になっています。

初めての試みで、ぶつつけ本番に近いところがたくさんあったようですが、裏方の実行委員、自治会役員、消防団員、青年団員の連携により進行はバッチリです。プログラムが進むにつれプレレ

好プレーが続出。笑いや歓声が湧き上がりどんどんと盛り上がっていきま

す。お昼はお楽しみのお弁当を全員でいただきました。参加した皆さんからは「とても楽しかった。」「いろんな人とおしゃべりが出来た。」「また、来年も参加したい。」などの声が聞かれました。笑顔いっぱいの運動会でした。



## 河 呂

### ふれあい運動会



河呂自治会のふれあい運動会については、役員はもとより体育推進委員が中心になっておこない、盆踊りについては消防団が中心になって開催しました。

後から行いました。子供相撲の奉納を皮切りにビンゴゲーム、フラダンス、飛び入りで中学生によるダンス、村芝居、農会による

富くじで閉じました。

秋祭りは、夏祭りで決定した万灯を実施し、宵宮の子供屋台の帰りを賑やかに出迎え、本宮は、滝谷において子供屋台のお祓いをして、神事が執り行われ、その後神社において神事、午

毎年遠くで生活している兄弟や親戚、約300人程が参加してご馳走を並べて酒を飲みながら和気藹々とした時間が過ぎました。



の神事、午

# ちくさの秋まつり

昨年10月11日12日に行われた秋まつりのようすです。

れ  
あ  
れ  
あ  
い



大森神社（千草）子供神輿



大森神社（河呂）農村歌舞伎舞台



二宮神社（岩野辺）獅子舞奉納



八幡神社（鷹巣）チャンチャコ踊り



五社神社（黒土）獅子舞奉納

# ちくさふれあいフェスタ2014

千種の秋の一大イベント「ちくさふれあいフェスタ2014」が10月26日（日）開催されました！！

天候に恵まれ、多くの人出で賑わいました。

盛り沢山の内容で、子どもから大人までみんなが楽しめた一日でした。



千種まちづくり推進委員会の緑のテントが青空に映えて目立ってましたね！



# ちくさのクリスマスランド

12月21日、大通り広場 栄栄人來にて『ちくさのクリスマスランド』が開催されました。

寒空の下、商店街連合会の〈あったか屋台村〉に商工会青年部の〈射的ゲーム〉、それに今回は千種高校の出店もあり、大いに賑わいました。

たくさん子どもたちが集まり、カウントダウン、イルミネーションの前でみなさん記念撮影をされていました。

ぜひ、見に来てくださいね (^-^)/



# を育てる会

## 3 音楽を介した教育交流会

兵庫教育大学吹奏楽部との交流支援



## 4 兵庫教育大学との交流

兵庫教育大学学園祭への出店



多くの方々の無償の支援により、ちくさっ子にとって普段はなかなかできない体験やふれあいの機会を設けることができました。ちくさは子どもたちに伝えたい「こと・もの」に溢れています。そして、地域の経験豊富なみなさんからは、伝える「ひと」として惜しみない支援をいただいています。

これらちくさの「ひと・こと・もの」を、ちくさっ子を育てる貴重な資源として、これからも活動していきたいと思っています。今後とも「ちくさっ子を育てる会」へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 空き店舗活用 「千高街の駅」 登場！

平成26年も、千種高校は地域の皆様の幅広い応援をいただきながら、地域の皆様方との結びつきをさらに深めることが出来ました。その象徴として、商店街の空き店舗を活用した「千高（ちこう）街の駅」の登場があります。高校生の活動発表の場として、また、子供から高齢者の方々までが集い共に活動できる場として、様々な活用方法を考えながら7月の妙見夏まつりを皮切りに、10月のちくさふれあいフェスタ、12月のクリスマスランドといった町のイベントに合わせる形で店を開いてきました。千種高校ならではの「ライフル射撃」・「ゴルフ」・「軽音楽ドラム体験」は幼小中の子供たちが大いに楽しんでくれましたし、12月に行った高齢者対象の「スマホ教室」では高校生が丁寧に使い方を解説して皆さんに喜んでいただきました。中でも、10月に行った商店街路上での「千種太鼓」の演奏は、高校生にとっては思い出に残る晴れの舞台となりましたし、ご覧になっていただいた数多くの町の皆さんにとっても、「明るく元気なま

# ちくさっ子

「ちくさっ子を育てる会」の取組にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本年度におきましても子どもを主とした地域づくりを活動方針に、兵庫教育大学生との教育交流や地域の諸団体と連携した厚みのある取組を推進してきました。

その一部を紹介し、ちくさっ子の生き生きと輝く様子を伝えるとともに、関わっていただいた方々へのお礼といたしたく思います。

## □ 学校園への支援活動

### 1 豚汁の炊き出し 「保幼小中高合同ふれあい文化祭」への支援



### 2 しめ縄づくり 町老人クラブ連合会との連携による支援



ちづくり」を目指す上で高校生ができることがまだまだたくさんあることに気づいていただいたのではないかと思います。店舗内では、陶芸や写真などの生徒の作品と共に、昨年作製した千種町中心部の立体ハザード模型及び50年前の大水害の様子を伝えるパネルを常設展示しています。さらには、9月から月に1回千種中高の2人のALT (ZachとDavid) が一般向けの英会話教室を開いていますので、是非一度店を覗いてみてください。

千種高校は、「地域に支えられ、地域に貢献できる学校」でありたいと常に思っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

# ちくさ高原スキー場です。 ちくさガールズ誕生！



1月12日までの入場者数は約3万人。コンディションも最高です。今シーズンは「ちくさガールズ」というアイドルグループも誕生し、スキー場は連日盛り上がりつつあります。写真はマックアースガールズです。衣装が緑の5名が「ちくさガールズ」です。



## ニューイヤーフエスタ



1月11日に大阪・万博公園で開催されたニューイヤーフエスタで蛤雑煮を販売してきました。

当日は、千種まちづくり推進委員会のメンバーを中心に、宍粟市の観光大使の瀬戸直人さんも応援に駆けつけて下さり、声をからして販売しました。

千種出身の方が声をかけて下さったり、たくさんの方に購入頂きました。おかげで大好評のうちに600食を完売することが出来ました。



## 編集後記

「正直な気持ち」・・・地域活性化のためという大義名分のもと町づくり推進委員会が発足した。委員は誰がするのか(宛職であったり、懇願であったり)、さあ大変！しかし、回を重ねる郷の現実を改めて認識する中で、おれ達がやらなきゃ誰がやる、やっと志も一つになっていよいよ具体的に動いていきます。愛する故郷を後世に引き継いでいくことは今を生きる私たちの使命です。皆さんの知恵と体を貸してください。

それにしても寒い！！風邪をひかないようにしましょう。

編集委員

